



➤ 目的

訪問看護ステーションの請求業務に関わる制度や事務業務の実際の理解を深め、医療事務員の役割を学ぶ

➤ 北部会場 京都府立中丹勤労者福祉会館

10月9日(水)・16日(水)・24日(木)

➤ 南部会場 京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

10月23日(水)・29日(火)・11月7日(木)

医療事務研修は、昨年度から開催され、今回は2度目の開催となりました。北部会場(京都府立中丹勤労者福祉会館)13名、南部会場(ハートピア京都)46名の参加があり、うち医療事務未経験者の方が10名おられました。

事例を通しての応用問題を、濱戸会長が参加者と共に「訪問看護報酬請求マニュアル」を片手に演習されていました。最終日午後ともなると会場から解答や質問の声は自然と聞かれ、和気あいあいと学びを深めている様子でした。

➤ プログラム ※北部会場・南部会場共通

第1日目 講師 北部：團野一美 南部：高橋由美

10:00~11:00 挨拶
訪問看護ステーションの概要
11:00~12:30 訪問看護のしくみと基礎知識
13:30~15:30 訪問看護医療保険請求関係
15:40~17:00 訪問看護介護保険請求関係

第2日目 講師 北部：濱戸真都里 高橋由美 南部：高橋由美 金澤克枝

10:00~12:30 記載例からわかる
報酬請求業務の実際
13:30~17:00 介護保険・医療保険の
基礎演習問題

第3日目 講師 北部：三宅佳代子 石倉信子 早川 進 南部：濱戸真都里 国田 綾 早川 進

10:00~12:30 介護保険・医療保険の
応用演習問題
13:30~15:00 Q&Aからわかる
報酬請求業務のポイント
15:30~16:50 接遇(ビジネスマナー)



訪問看護ステーションひなたの国田事務員からは、請求にあたってのポイントと工夫についてわかりやすく説明されました。

最後に、就業アドバイザーの早川氏より仕事が楽しくなるビジネスマナーについて話をされ、参加者の仕事に対するモチベーションが上がったところで3日間の研修が無事終了しました。



➤ アンケートより

“ステーションとしての視点、事務の必要性を感じた” “事務職としてステーションを支えていけたらと思います” “訪問看護ステーションの仕事、奥深さ、人との関わりの大切さを理解した” “看護師等や利用者様により良い支援ができるようにしたい” など制度や請求の事のみならず訪問看護ステーション事務員として明日に繋がる学びがあったようです。

ステーションの事務員採用が促進され、訪問看護師が利用者様や家族様に寄り添える時間が増えるといいですね。



京都府訪問看護ステーション協議会
KYOTO VISITING NURSE STATION CONFERENCE

取材：広報委員会